
第5次江別市総合計画
後期基本計画の達成状況について

平成25年2月

江別市

目 次

I	概要	1
II	後期基本計画の推進状況及び達成状況.....	3
III	施策別達成状況	13

I 概要

1 目的

平成 26 年度からの「新しい総合計画」の策定にあたり、現行の総合計画（第 5 次江別市総合計画後期基本計画＜平成 21 年度から平成 25 年度まで＞）の平成 24 年 11 月現在の推進状況と達成状況についてまとめたものです。

2 第 5 次江別市総合計画後期基本計画の達成状況の考え方

第 5 次江別市総合計画後期基本計画は、施策の目的達成状況をわかりやすく設定し、計画を適正に推進していくため、PDS（計画・実行・評価）型行政評価システムで推進しています。

このため、事業を実施した成果を判断する指標を成果指標として数値化していますので、今回の達成状況の調査にあたっては、平成 23 年度の各種統計データによる成果指標値、及び平成 23 年度の市の取組に対する市民アンケート調査結果による成果指標値、さらに各部局における今後の取組などにより、後期基本計画の施策と基本事業について最終年度である平成 25 年度の達成状況を判断しています。

この平成 25 年度の成果指標の達成状況については、後期基本計画策定時の平成 19 年度の成果指標値を基準値とし、「既に達成（A）」、「達成確実（B）」、「達成可能（C）」、「達成困難（D）」、「達成不可能（E）」の 5 段階で判断しています。

(例)

施策	成果指標	後期基準値 平19年度	現状値 平23年度	後期目標値 平25年度	達成状況
01-01 循環型社会の形成	市民 1 人当たりごみ排出量(g/日)	724 g	726 g	720 g	C
05-03 青少年健全育成の推進	社会生活や集団生活のルールなどの大切さを理解している児童・生徒の割合(%)	85.8%	89.8%		B

「既に達成（A）」：既に成果指標が後期目標を達成しており、今後も成果指標値が下がる余地のないもの。

「達成確実（B）」：成果指標値についてこれまで上下の変動はあるが、現状値が後期目標を上回っており、今後も努力を継続することにより目標達成が確実であるもの。

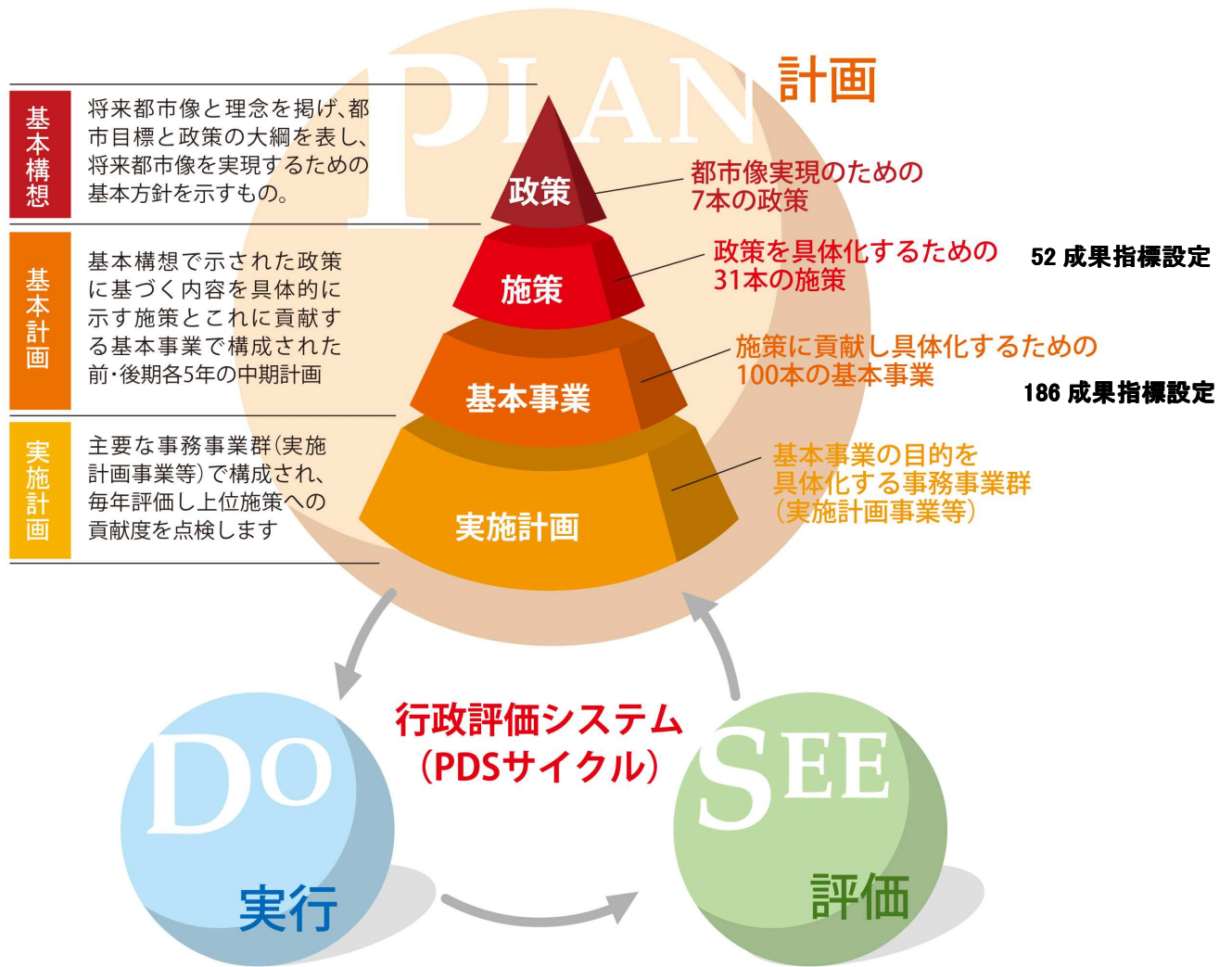
「達成可能（C）」：現状値が後期目標を下回っているが、今後の努力により目標の達成が可能であるもの。

「達成困難（D）」：事業のやり方や期間を変更するなどの努力をしても、目標の達成が困難であるもの。

「達成不可能（E）」：制度改正など外部の要因により目標の達成が明らかに不可能であるもの。

のいずれかが記載

■行政評価システムの基本構造



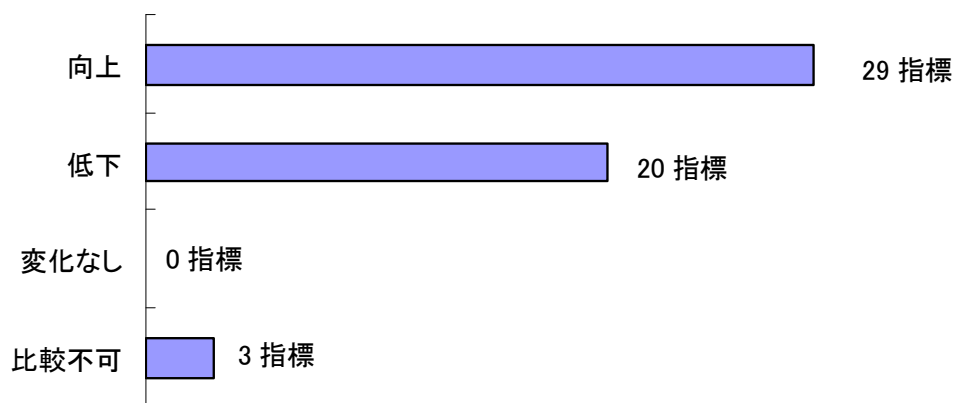
II 後期基本計画の推進状況及び達成状況

1 後期基本計画の施策と基本事業の平成 23 年度までの推進状況

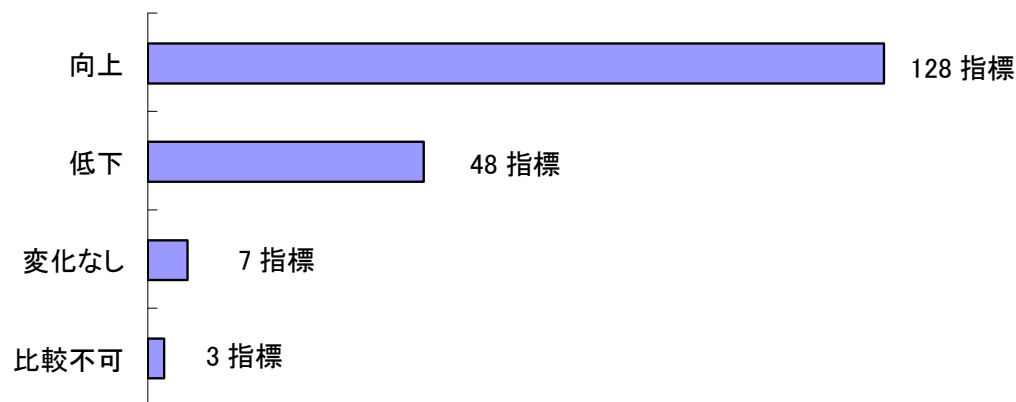
まちづくりを実現するための 31 施策に設定された 52 の施策成果指標値は、後期基本計画策定時点の平成 19 年度から平成 23 年度までの推進状況(推移)では、29 指標が向上、低下が 20 指標となっています。5 割強の施策成果指標値の向上となっています。

また、31 施策の成果を向上するための手段として設定されている 186 基本事業成果指標値についての後期基本計画策定時点の平成 19 年度から平成 23 年度までの推進状況(推移)では、128 指標が向上、低下が 48 指標となっています。基本事業成果指標値は約 7 割が向上しています。

■後期基本計画開始時点（基準値）との比較（施策成果指標 52 指標）



■後期基本計画開始時点（基準値）との比較（基本事業成果指標 186 指標）



推進状況の区分について

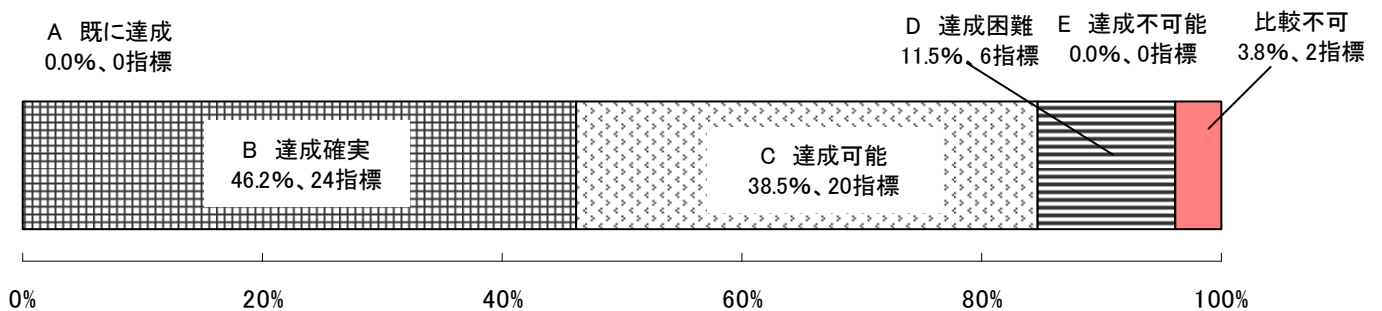
- ※1 後期基本計画策定時点の基準値として設定されている値（必ずしも全指標が平成 19 年度ではない）または後期基本計画期間中で数値が取得された最も古い年度と直近（平成 23 年度）の施策基本事業評価で把握されている値を比較しています。
- ※2 現状を維持する指標（不具合件数 0 件等）については、現状維持の場合、向上としています。
- ※3 「比較不可」は、後期基本計画策定時点の基準値以降、国等の統計データの調査頻度等により、新たな指標値が把握されていないため、比較ができないものです。

2 後期基本計画の施策と基本事業の達成状況

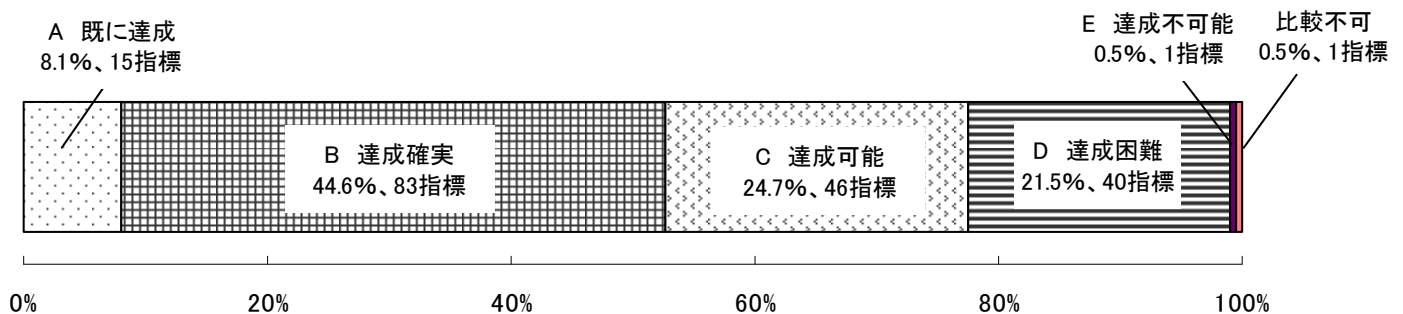
31 施策の施策目的達成度を示す後期基本計画の 52 施策成果指標について、平成 24 年 11 月時点で、達成確実な指標は 46.2% (24 指標)、達成可能な指標は 38.5% (20 指標) となっています。施策成果指標では、8割がほぼ計画を達成できる見込みです。

31 施策の施策達成の手段である基本事業の 186 成果指標については、平成 24 年 11 月時点で、既に達成した指標は 8.1% (15 指標)、達成確実な指標は 44.6% (83 指標)、達成可能な指標は 24.7% (46 指標) となっています。基本事業成果指標では、7割がほぼ計画を達成できる見込みです。

■ 施策成果指標全体の達成状況 (52 指標)



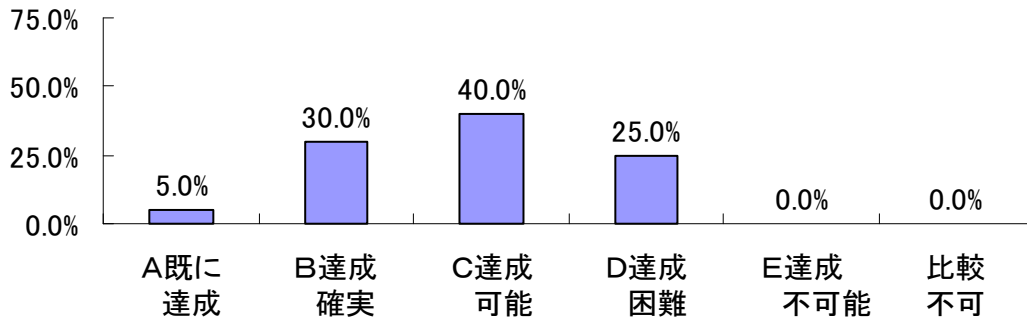
■ 基本事業成果指標全体の達成状況 (186 指標)



3 政策別の達成状況

政策名 01 環境と調和する都市の構築

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で75.0%を占めており、概ね順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
01-01 循環型社会の形成	0	2	4	3	0	0
01-02 人と地球にやさしい環境の創出	1	2	3	0	0	0
01-03 水とみどりの保全と創出活用	0	2	1	2	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

循環型社会の形成

- ・ごみの排出量は、ほぼ横ばい傾向であり、排出抑制のための啓発を継続して取り組む必要があります。
- ・ごみ資源化の推進については、民間事業者による資源回収ルートの多様化が進んでおり、市の回収資源量の目標には達しませんが、江別市全体では資源化が進んでいると思われます。今後は、市の資源物収集や自治会等の集団資源回収に加え、可能な限り再利用・再資源化ルートの広報等に努める必要があります。
- ・不法投棄については、タクシー会社及び郵便局と不法投棄情報提供協定を締結したことや今後のパトロール業務の一部民間委託化で早期発見及び早期対応を行うことにより抑制をめざします。

人と地球にやさしい環境の創出

- ・省エネに取り組んでいる市民の割合は、横ばい傾向にありますが、今後も、電力需給の逼迫に伴う継続的な節電要請が想定されることから、引き続き市民の意識啓発に努めます。
- ・公害の排出規制基準値を超えた事業所はなく、今後もこれまでどおり公害が発生しないよう事業者への指導を継続していきます。

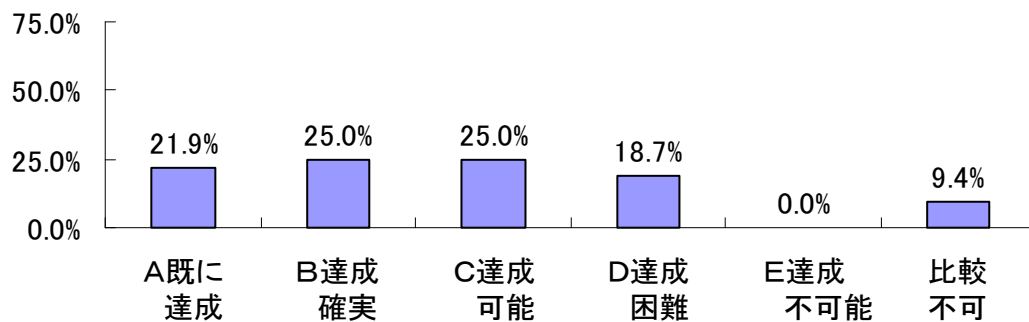
水とみどりの保全と創出活用

- ・緑や水に親しめる空間の市民満足度は、向上していますが、自宅で緑を育てている若い世代が少ないことから、野幌森林公園や石狩川など自然を身近に感じることができる環境を活かし、継続した啓発を行うことが求められます。
- ・市民による花のある街並みづくりについては、自治会の担い手の高齢化への対策（花壇の維持管理手法の負担軽減化等）が求められます。

政策名

02 明日につながる産業の振興

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で71.9%を占めていますが、施策によって達成状況にばらつきが生じています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
02-01 都市型農業の推進	2	5	3	1	0	2
02-02 工業の振興と産学官連携の推進	3	1	0	3	0	0
02-03 商業の振興	1	0	3	1	0	0
02-04 就業環境の整備	1	2	2	1	0	1

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

都市型農業の推進

- ・新規就農者数、農業生産法人数、JA 道央組合員一戸当たりの販売実績、付加価値の高い農産物の出荷量等は向上しておりますが、今後も更なる取組が必要です。
- ・少子高齢化や農地集積等のため農家戸数が減少しており、今後は国の新規就農総合支援事業を活用し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るとともに、より生産性の高い農業の推進が求められます。

工業の振興と産学官連携の推進

- ・食関連産業の誘致方針及び食関連の連携協定、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区指定を受けたことなどから、新規立地企業及び新規雇用は伸びていますが、市内大卒者等の若者の働く場所の確保、工業団地への公共交通のアクセスの充実が課題となっています。平成20年のリーマンショック等のグローバル経済の影響で、景気が依然として厳しい状況においては、江別経済ネットワークで生まれた「江別小麦めん」のような従来型のクラスター型商品開発から企業間や大学間等による共同開発研究提案や新製品開発の動きなどを踏まえた取組を検討する必要があります。

商業の振興

- ・長引く景気の低迷等で、小売業販売額、観光入込客数は低下傾向にあることから、各種の魅力向上等の取組による消費喚起が求められます。
- ・商店街の活性化については、高齢化や大型店の寡占化による商業動態の変化を踏まえ、大学生によるまちづくり企画提案など、商学連携などの取組により地域コミュニティ拠点としての魅力づくりが必要です。

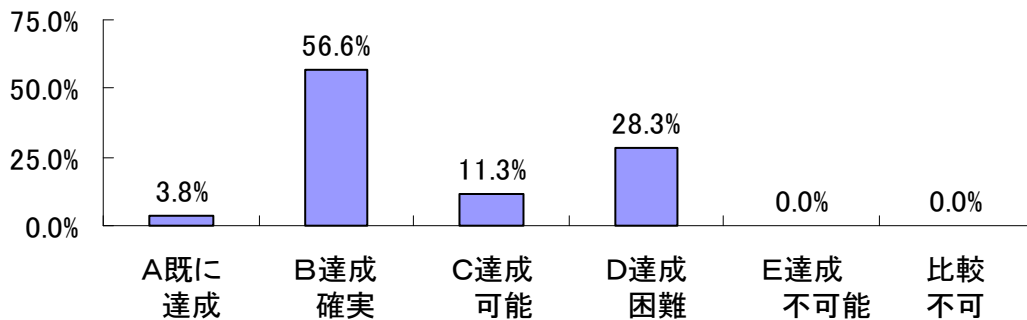
就業環境の整備

- ・就業者数、新規求人数については、企業誘致や国の雇用交付金事業の活用、医療福祉関連の求人が多かったこと等により、伸びていますが、雇用は経済状況の変化に左右されるものであることから、今後も引き続き雇用創出の取組を進めていく必要があります。
- ・若年者の離職率が高い状況が続いているため、引き続き高校と受入れ事業所との連携を支援し、若年者の勤労観、職業観の育成を図っていく必要があります。

政策名

03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で71.7%を占めており、概ね順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
03-01 地域福祉の充実	0	2	3	1	0	0
03-02 健康づくりの推進	0	6	2	3	0	0
03-03 子育て環境の充実	0	6	0	2	0	0
03-04 障がい者福祉の充実	0	8	0	1	0	0
03-05 高齢者福祉の充実	0	5	1	4	0	0
03-06 社会保障の充実	2	3	0	4	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

地域福祉の充実

・福祉ボランティア団体の支援先数、ボランティア団体数・構成員数は向上しており、今後も地域福祉の担い手の充実と市民の担い手意識向上が求められます。

健康づくりの推進

・各種健診等の受診率は向上しましたが、悪性新生物、心疾患などを含む生活習慣病死亡率については、全国的な増加傾向もあり、上昇していることから、市民の生活習慣の改善に向けて健康に対する意識向上の取組が求められます。
 ・医師数等の地域医療体制は向上していますが、多様化する医療ニーズに応えるため今後も充実が求められます。

子育て環境の充実

・各種子育てサービスの利用率は向上し、保育所の待機児童数は減少傾向にありますが、少子化や学童保育の利用により児童センターの利用者数は減少しており、今後も常に子育てニーズの把握に努めながら事業展開をしていく必要があります。

障がい者福祉の充実

・障害者総合支援法の施行により、難病患者も障害福祉サービスの利用対象者となり、利用者の増加が見込まれることから、サービスの受け皿を増やすことが課題となります。
 ・療育指導では、健診事業、各種相談などで今後も早期対応と療育指導の充実に努めていく必要があります。

高齢者福祉の充実

・生きがいを持つ高齢者や、介護サービスの満足度は向上していますが、介護予防事業への参加、高齢者の地域交流は低下傾向にあるため、今後は介護予防事業のサービスの充実や、高齢者クラブの活動内容の工夫が必要です。
 ・高齢者が増加しているため、今後計画的な入所施設の整備が必要です。

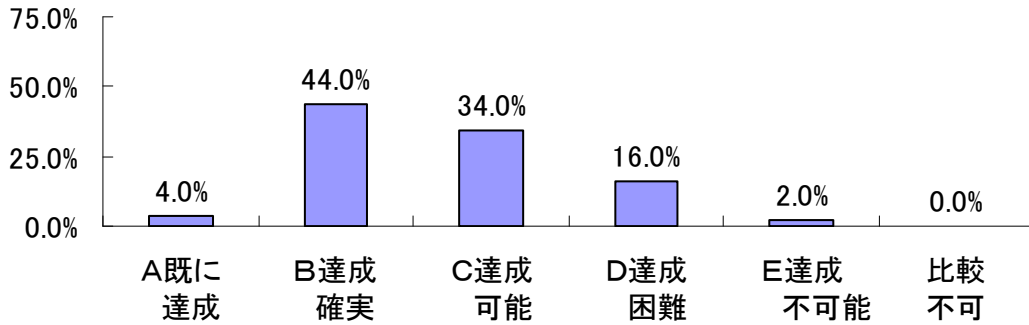
社会保障の充実

・景気低迷と雇用情勢の悪化のため被保護者の就労は厳しい状況にあるが、今後も就労して自立ができるよう支援していくことが求められています。
 ・市営住宅は、新築団地建替事業も含め全体計画の中で入居率の改善に努めていく必要があります。
 ・国民健康保険の地域差指数は、医療費適正化の取組により、全道平均を下回っていますが、全国平均を上回っており、また高齢者の医療費も年々増えていることから、特定健診などの予防事業の強化が必要です。

政策名

04 安全で快適な都市生活の充実

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で82.0%を占めており、順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
04-01 安全な暮らしの確保	0	7	1	1	0	0
04-02 交通環境の充実	0	0	5	1	0	0
04-03 危機管理の強化・充実	0	3	2	4	0	0
04-04 市街地整備の充実	0	3	5	1	1	0
04-05 上下水道の整備	0	1	4	0	0	0
04-06 電子情報化の推進	2	3	0	0	0	0
04-07 消防・救急の充実	0	5	0	1	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

安全な暮らしの確保

- 交通事故、犯罪件数、生活環境の苦情等は少なくなり、安全な環境となっています。自治会の防犯活動については、活発化は直ちには難しい状況にありますが、今後は自治会の枠を超えたボランティアグループなどによる自主的な防犯の取組が広がりをみせており、今後は団体間の連携をどう強化するかが課題となります。

交通環境の充実

- 安全で快適な道路環境については、新たな道路整備事業が減少する中、日頃の道路パトロールや維持補修による整備、改修を進めており、今後もきめ細やかな対応が求められます。移動交通手段については、公共交通検討会議の議論を踏まえ、今後はバス交通の充実を図っていく必要があります。

危機管理の強化・充実

- 公共施設の耐震整備は、収容避難所である小中学校の耐震化を優先して取り組んでいます。比較的規模の大きい体育施設や老朽化した市有施設の耐震化が遅れているため、今後、施設のあり方や使用状況を考慮しながら推進していく必要があります。
- 東日本大震災を教訓に、実効性の高い参加型訓練を重点的に開催したことから、参加者や参加自治会がやや少なくなっているため、今後は出前講座等で市民が参加できる機会を増やしていくことが必要です。

市街地整備の充実

- 江別の顔づくりによる利便性・快適性については、鉄道の高架化などにより向上しており、今後についても、駅前広場や高架下駐輪場、白樺通の平面化、8丁目通の整備などを進めていくことが重要です。
- 町名板の再整備や野幌駅のバリアフリー化など、人にやさしく分かりやすい街並みづくりに取り組んできましたが、今後も公共施設のバリアフリー化などを推進していく必要があります。

上下水道の整備

- 上下水道とも施設の適切な維持管理と計画的な更新により、効率的かつ安定的、適正な事業を推進しています。今後はさらに耐震化事業を計画的に推進していく必要があります。

電子情報化の推進

- 市民サービスの向上のため、住民情報システムの導入に合わせて住民票などの「コンビニ交付」の開始準備を進めていますが、今後は、「社会保障と税の一体改革」に伴うマイナンバー制度へ対応が課題となります。

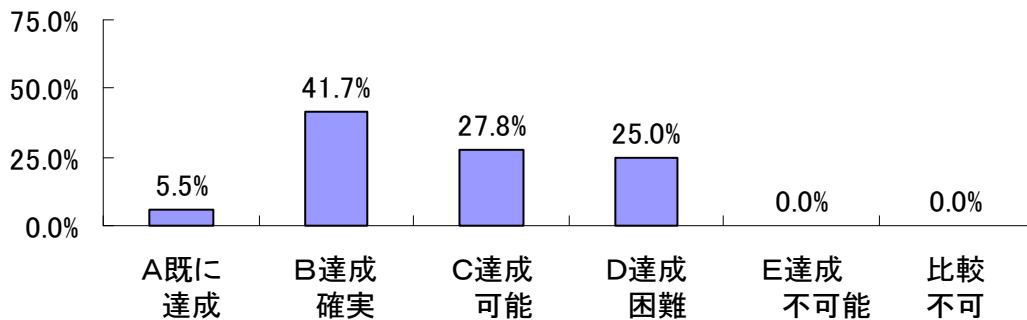
消防・救急の充実

- 消火器の取扱い方法の指導や救命講習会など、市民による防火、救命対策を推進していますが、今後も市民への啓発に積極的に取り組むことが必要です。

政策名

05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で75.0%を占めており、概ね順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
05-01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実	1	5	3	2	0	0
05-02 生涯学習の充実	0	0	5	1	0	0
05-03 青少年健全育成の推進	1	4	0	0	0	0
05-04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	0	3	1	5	0	0
05-05 市民スポーツ活動の充実	0	3	1	1	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

子どもの可能性を伸ばす教育の充実

- ・教育内容の充実については、ティームティーチングや少人数指導など、児童・生徒一人ひとりの理解度に応じたきめ細やかな指導、学校関係者評価による地域の方の意見を取り入れた学校経営を今後も継続して行うことが必要です。
- ・学校給食の残食率の低下に向けて、今後、さらなる献立・調理の工夫、栄養教諭による食に関する指導の一層の充実が必要です。
- ・児童生徒数の減少が今後さらに進み、適正規模の学校を維持することは難しいことから、適正な教育環境の保持に向けて、一層の検討が必要です。

生涯学習の充実

- ・生涯学習をしている市民は増加していますが、今後は生涯学習団体の高齢化への対応、生涯学習の成果をまちづくりやボランティア活動等に活かすための意識啓発や場づくりの取組が課題となります。

青少年健全育成の推進

- ・青少年の検挙・補導等人数は減少傾向にありますが、非行の低年齢化や不登校、ひきこもり、虐待などの問題は一層深刻になってきており、行政、学校、地域、家庭等が一体となった取組をさらに充実させる必要があります。

ふるさと意識の醸成と地域文化の創造

- ・景気低迷等により、各種文化事業参加者数は減少しています。市民のふるさと意識も向上していない状況です。今後は、市民に関心を持ってもらえるような文化事業に取り組むとともに、れんがの保存と活用として、公共施設への利用やガーデニング用資材への活用等で、「れんがのまち」の市民意識醸成に取り組んでいく必要があります。

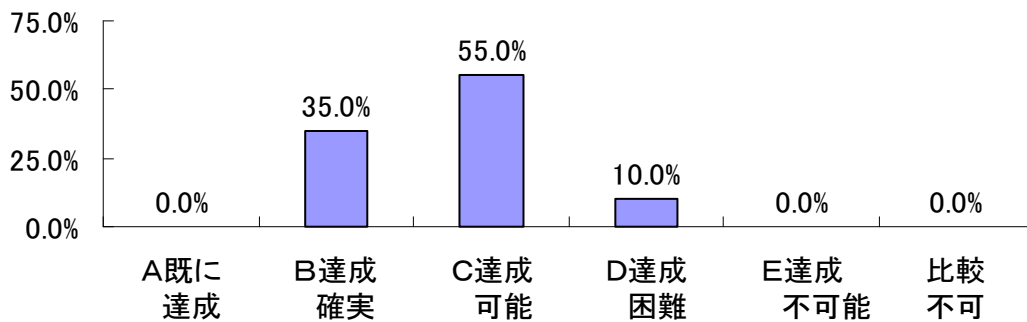
市民スポーツ活動の充実

- ・屋内外のスポーツ施設の計画的な補修・改修によりスポーツ施設整備の満足度は向上し、講座の充足度も向上していますが、スポーツに取り組む市民は増加していないため、今後は、スポーツ・レクリエーション活動を自主的に取り組む団体の育成や、個人でもスポーツ活動しやすい環境づくりに取り組む必要があります。

政策名

06 市民協働によるまちづくり

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で90.0%を占めており、非常に順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
06-01 自助・互助・公助のまちづくり	0	1	5	0	0	0
06-02 男女共同参画社会の形成	0	2	2	1	0	0
06-03 国内・国際交流の推進	0	4	4	1	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

自助・互助・公助のまちづくり

- ・自治会活動に参加する市民を増やすため、今後も自治会SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を利用し活動の周知啓発を図るほか、自治会役員対象の研修会を開催するなど、自治会活動活性化に向けた支援を行っていく必要があります。
- ・市と自治会、市民活動団体等との協働件数は増加しており、今後も地域課題に対するワークショップの開催など団体間連携の促進を図り、積極的に支援をしていく必要があります。

男女共同参画社会の形成

- ・市民の男女平等意識は、共働き世帯の増加による男性の家事・育児への参加にともない向上していくものと考えられますが、地域や企業など社会全体で捉え、今後も啓発事業による取組が必要です。
- ・女性の審議会等への登用は、委員の専門性を優先する必要があるため、進みにくい状況ですが、今後も審議会所管部署への働きかけや意識改革を促していくことが必要です。

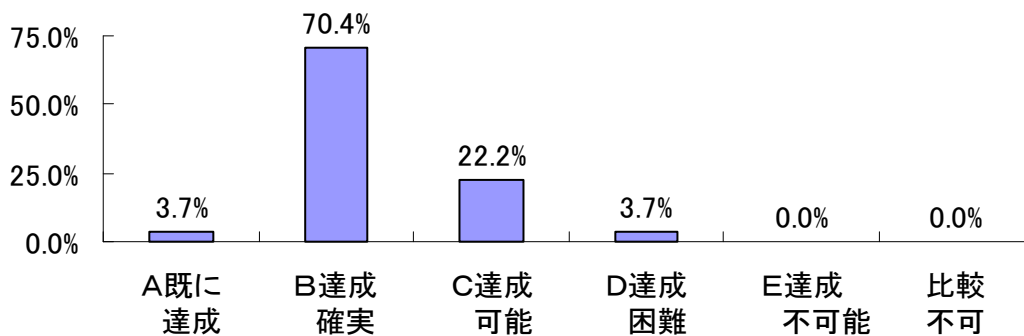
国内・国際交流の推進

- ・江別国際センターや江別市都市提携委員会などの活動を通じて、異文化交流を図るとともに、姉妹都市や友好都市との相互交流などで、多くの児童・生徒が異文化を肌で体験するなど、お互いの言葉や文化を理解できる人材の育成に努めています。
- ・国際交流団体の登録者は、景気低迷や韓流ブームの沈静化などで減少傾向にありますが、今後も江別国際センターと協力しながら、市民に国際理解を深めてもらえるように取り組むことが必要です。

政策名

07 計画実現に向けて

◆後期基本計画の達成状況（成果指標別の状況）



後期基本計画の達成状況は、既に達成、達成確実、達成可能で96.3%を占めており、非常に順調に推移しています。

◆施策別の状況（数値は、指標数）

施策別の達成状況	既に達成	達成確実	達成可能	達成困難	達成不可能	比較不可
07-01 効率的な行財政運営の推進	0	11	3	1	0	0
07-02 地方分権・広域行政の推進	1	2	1	0	0	0
07-03 開かれた行政づくり	0	6	2	0	0	0

◆後期基本計画の取組状況と次期総合計画への課題

効率的な行財政運営の推進

- ・行政評価システムを活用した総合計画の進捗よく管理に取り組み、おおむね後期基本計画の目標を達成できると考えます。今後も行政評価を継続することで、市の取組の市民への説明責任を果たしていく必要があります。
- ・様々な行財政改革の取組により、行政運営や行政サービス、施設サービスに関する市民満足度は向上し、財政の健全化も図られています。今後も職員の能力を活かせる環境づくりや経費削減に向けた取組などを継続していく必要があります。

地方分権・広域行政の推進

- ・第二次一括法による国や北海道からの権限移譲に対しては、市の受け入れ体制が課題となります。
- ・広域連携の推進については、札幌広域圏組合事業や厚別区・北広島市との3市による交流事業に取り組んでおり、今後も具体的なテーマを設定して取り組む必要があります。
- ・地域資源である大学を活用し、大学と市が連携した事業が増えており、今後も各種補助金を活用した研究成果の有効活用や、より幅広い分野での大学との連携が求められます。

開かれた行政づくり

- ・広聴の充実については、市政に対する市民の意見や要望とその対応状況等を公開する手法を検討するとともに、市民からの意見等への対応をより迅速に行う必要があります。
- ・広報の充実については、広報紙やホームページなどさまざまな発信媒体の特性や利点を活かし、情報の連動・補完を行うことで、情報提供の効果を高めていくことが必要です。

4 施策別の達成状況一覧

31 施策における成果指標の達成状況を天気に例えた場合に、下記の構成となっています。

『晴れ』（順調）・・・・・・20 施策

『曇りのち晴れ』（おおむね順調） 7 施策

『曇り』（横ばい）・・・・・・ 4 施策

政策名	施策名	達成状況	政策名	施策名	達成状況
都市の構築 環境と調和する	循環型社会の形成		安全で快適な 都市生活の充実	市街地整備の充実	
	人と地球にやさしい環境の創出			上下水道の整備	
	水とみどりの保全と創出活用			電子情報化の推進	
産業の振興 明日につながる	都市型農業の推進		豊かさ と創造性を 育む 生涯学習環境の充実	消防・救急の充実	
	工業の振興と産学官連携の推進			子どもの可能性を伸ばす教育の充実	
	商業の振興			生涯学習の充実	
	就業環境の整備			青少年健全育成の推進	
保健・医療・福祉の充実 安心を感じる	地域福祉の充実		市民協働による まちづくり	ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	
	健康づくりの推進			市民スポーツ活動の充実	
	子育て環境の充実		計画実現 に向けて	自助・互助・公助のまちづくり	
	障がい者福祉の充実			男女共同参画社会の形成	
	高齢者福祉の充実			国内・国際交流の推進	
	社会保障の充実			効率的な行財政運営の推進	
市生活の充実 安全で快適な都	安全な暮らしの確保			地方分権・広域行政の推進	
	交通環境の充実			開かれた行政づくり	
	危機管理の強化・充実				

達成状況の判定区分

施策と基本事業の成果指標の「既に達成」「達成確実」、「達成可能」の割合で設定

マーク	指標割合	マーク	指標割合	マーク	指標割合
	80～100%		60～80%未満		40～60%未満
	20～40%未満		0～20%未満		

Ⅲ 施策別達成状況

別冊のとおりとなっています。